

家庭学習だより

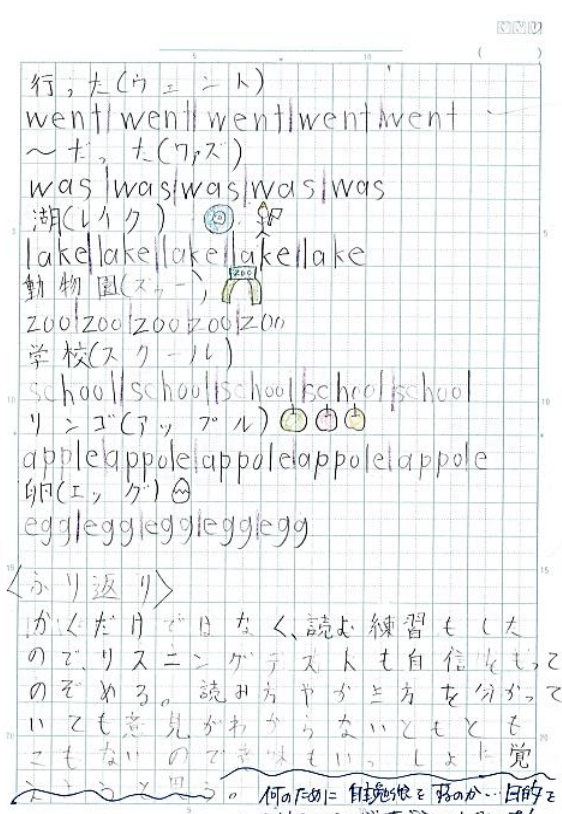
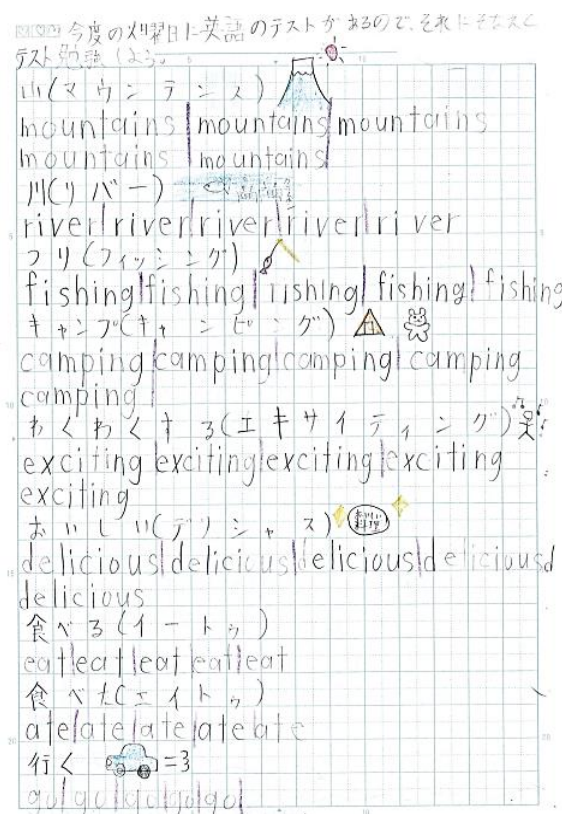


木津川市立加茂小学校 令和4年11月4日発行 7号

学力充実部

学習の秋？宿題の秋？

2学期の家庭学習 P-up 週間の開始を来週末に控え、今のかもっ子の宿題の様子を紹介します。昼間が過ごしやすい時期となり、スポーツや読書と同じく学習にも力を入れられるといいですね。



宿題にプラスアルファで、ドリル 1 ページに挑戦しているかもっ子がいます。量にすると多いものではありませんが、続けようとしていることが素晴らしいです。他にも、宿題にめあてを立てて取り組んでいるかもっ子がいます。「きれいに書く」がめあての日の漢字練習ノートは、とても丁寧な字で書いてありました。宿題を自分が伸びるために利用できている、素敵な行動です。

毎日の宿題は「自分のため」だと分かっているも…負けそうになってしまうこともありますね。大人も同じです。そんな時こそ、そんな自分に立ち向かうトレーニングにして欲しいと思います。そして、がんばった後は、立ち向かえた自分に拍手を贈りましょう！

文章を書く

361字以上 450字以内 飞墨 (20分)

・地球温暖化を防ぐために、日常生活においてできる取り組みは何だと思いますか。

29-18

よくは、地球温暖化を防ぐために
は、ポイ捨てをしないで、ゴミを
ミガオチていたら拾っておくこと
が出来ることだと思ひます。
なぜなら、プラスチックのゴミが
は小さくかからでも地球の環境に
に大きな害を及ぼすからで
す。海や川にゴミが流れると、波
なでのかえり、マイクローブス
チックとマダモ、そのまゝ死んで
が食べたり、そのまゝ死んで
しまふ生き物がいます。地上でも
プラスチックを食べて、体に引
かかっています。死んでしまふこと
があります。そのうちなことがな
いようには、まずゴミを捨てない

とて、ゴミが落ちていたり拾うて
 おいてあげるとか大切ですよ。
 一日に一個拾うてゴミを拾う。
 このゴミは小さいなとこひもこちり
 も積もれば山と成るといふ言葉が
 ある。うにこれ日本の一億人
 の人かやると、一日一億個のゴミ
 が出ることに成ります。もしおつ
 ていりからポイ捨てをしたらこ
 ともおちていたり捨てるておく
 とがでさうと口いい魚にます。

よく思っています。

6年生の【文章を書く】自主勉強です。自分の考えを文章にするのは簡単ではありません。ここまで書くことができるのは、日ごろから積み重ねの賜物です。まずは、短い文章（日記など）にテーマをもって書き始めるのがおすすめです。書くことに慣れると、文章を書くことに抵抗がなくなっていきます。そうやってきたら、しめたものです。

- ①文字数にこだわらず書く。一行日記など
- ②文字数を決めて書く。150マス日記(120文字以上150字以内)など
たくさん書きたいことをまとめる力や言い回しにこだわられるようになります。
- ③テーマを設定して書く。
なりきり作文・もしも作文・ほら吹き作文・テーマ日記・説明作文など
自由な発想や視点を変えて文章を書けるようになります。
- ④条件を付けて書く。

「 」から始める。『 』心の声を使う。ことわざや慣用句を使うなど

これらの条件を組み合わせることで、少し長い文章を書こうとすると、同じことの繰り返しにならず、変化のある文章になっていきます。

